

略 歴

- 1940(昭和 15)年 3 月 神戸市に生まれる
- 1959(昭和 34)年 3 月 神戸市立須磨高等学校卒業
- 1964(昭和 39)年 3 月 関西大学商学部卒業
- 1969(昭和 44)年 3 月 神戸大学大学院経営研究科博士課程中退
- 1969(昭和 44)年 4 月 和歌山大学経済短期大学部助手
- 1970(昭和 45)年 4 月 和歌山大学経済短期大学部講師
- 1974(昭和 49)年 4 月 和歌山大学経済短期大学部助教授
- 1987(昭和 62)年 4 月 関西大学商学部非常勤講師 (2002 年 3 月まで)
- 1992(平成 4)年10月 和歌山大学経済学部助教授に転任
- 1993(平成 5)年 4 月 和歌山大学経済学部教授
- 1993(平成 5)年 4 月 大阪明浄女子短期大学非常勤講師 (1997 年 3 月まで)
- 1998(平成 10)年 4 月 甲南大学経営学部非常勤講師 (2001 年 3 月まで)
- 1999(平成 11)年 4 月 大阪明浄大学観光学部非常勤講師 (2004 年 3 月まで)
- 2005(平成 17)年 3 月 和歌山大学経済学部定年退職

所属学会

日本経営学会, 経営学史学会, ドイツ企業研究会

その他公職

泉佐野市雇用施策懇話会議長 (2004 年 3 月まで)

著 作 目 録

〔Ⅰ〕 著 書

- | | | |
|-------------|--------------|-------|
| 現代経営学理論 | 大橋昭一共著 中央経済社 | 1999年 |
| サービスと観光の経営学 | 大橋昭一共著 同文館 | 2001年 |

〔Ⅱ〕 論 文

- | | | |
|---------------|------------------------------|------------|
| 経営経済学の方法—カッター | 和歌山大学経済学会 | 1970年 1 月 |
| レの所説を中心として— | 「経済理論」第 113 号 | |
| 分析的科学理論と経営経済学 | 和歌山大学経済学会 | 1972年11月 |
| | 「経済理論」第 127～131 合併号 | |
| 経営経済学と価値判断問題 | 和歌山大学経済学会 | 1973年11月 |
| | 「経済理論」第 136 号 | |
| 企業参加論の方法 | 和歌山大学経済学会 | 1984年 3 月 |
| | 「経済理論」第 198 号 | |
| 企業共同決定と市場経済体制 | 市原ゼミナール研究会編 | 1987年12月 |
| | 『経営と人間』森山書店 | |
| 経営参加 | 吉田和夫・大橋昭一編著 | 1988年 3 月 |
| | 『基本経営学総論』中央経済社 | |
| 企業共同決定と支配 | 和歌山大学経済学会 | 1989 年 3 月 |
| | 「経済理論」第 227・228 合併号 | |
| 共同決定法への道 | 和歌山大学経済学会 | 1989 年 7 月 |
| | 「経済理論」第 230 号 | |
| 労資同権か階級闘争か | 和歌山大学経済学会 | 1990 年 7 月 |
| | 「経済理論」第 234 号 | |
| ドイツの経営学 | 橘博・大橋昭一編著『経営学へのアプローチ』ミネルヴァ書房 | 1991 年 1 月 |

共同決定と労資関係	大橋昭一編著『現代のドイツ経営学』税務経理協会	1991 年 2 月
ドイツの経営参加	吉田和夫・海道ノブチカ編著『ドイツ経営学の進展』千倉書房	1992 年 3 月
動機づけと経営参加	大橋昭一・井上昭一・広瀬幹好編著『現代の経営と管理』ミネルヴァ書房	1992 年11月
基本経営学用語辞典(29 項目)	吉田和夫・大橋昭一編著『基本経営学用語辞典』同文舘	1994 年 6 月
日本企業における経営参加	大橋昭一・小田章・G.シャントツ編著『日本的経営とドイツの経営』千倉書房	1995 年 5 月
経営参加	吉田和夫・大橋昭一編著『現代基本経営学総論』中央経済社	1995 年 5 月
ドイツ資本会社における共同決定の効果	和歌山大学経済学会「経済理論」第 271 号	1996 年 5 月
経営共同決定と社会的市場経済	和歌山大学経済学会「経済理論」第 272 号	1996 年 7 月
ヨーロッパ経営協議会に関するドイツ連邦政府の法案	和歌山大学経済学会「経済理論」第 280 号	1997 年11月
経営参加の日独比較	大橋昭一・深山明・海道ノブチカ編著『日本とドイツの経営』税務経理協会	1999 年 8 月
Gewinnbeteiligung und Miteigentum : Eine gegenwärtige Bedeutung von Nicklischs Betriebswirtschaftslehre	大橋昭一共著関西大学「商学論集」第 48 巻第 1 号	2003 年 4 月

- ハイブリッド型チームから 大橋昭一・竹林浩志編著 2003年6月
 自主設計型チームヘッド 『現代のチーム制理論と役割』
 イツにおけるチーム制の 同文館
 発展動向一

〔Ⅲ〕 翻 訳

- ギュンター・シャンツ 小田章・岡部政昭共訳, 1989年7月
 西ドイツ経営学の新潮流 千倉書房
 G.シャンツ・ドイツ企業に 大橋昭一・小田章・G.シャンツ 1995年5月
 おける経営参加 編著『日本的経営とドイツ的経
 営』千倉書房
 ニックリッシュの経営学 大橋昭一編著・渡辺朗監訳, 1996年8月
 同文館
 ザクセ・労働市場の日独比 大橋昭一・深山明・海道ノブチカ 1999年8月
 較 編著『日本とドイツの経営』税務
 経理協会

〔Ⅳ〕 学会報告

- 投資レンクンクと経営を超 日本経営学会第52回全国大会 1978年9月
 える共同決定

〔Ⅴ〕 書 評

- 大橋昭一編著『経営学理論』 関西大学『商学論集』第38巻2号 1993年6月

〔Ⅵ〕 そ の 他

- ・平成4～5年度文部省科学研究費補助金（「国際学術研究」）による日独共同研究プロジェクト「日本とドイツにおける経営の比較研究」（代表者：大橋昭一，

小田章, G.シャンツ) に参画。

- ・平成6～7年度文部省科学研究費補助金（「一般研究B」）による研究プロジェクト「情報化・人間化・環境志向の統合的経営理論の研究——リーン生産方式との関連において」（代表者：大橋昭一）に参画。
- ・平成7～8年度文部省科学研究費補助金（「国際学術研究」）による日独共同研究プロジェクト「欧州の統合強化と企業の戦略・計画・行動——日独企業の比較研究を中心に——」（代表者：深山明）に参画。
- ・平成8年10月～10年9月日本学術振興会による日独科学協力事業「リーン経営方式・生産方式の新たな発展・展開のための日独における比較研究」（代表者：大橋昭一）に平成10年度から参画。
- ・平成14～15年度文部省科学研究費補助金（「基盤研究B」）による研究プロジェクト「現代におけるチーム制作業組織の意義と役割の研究——新しい理念と形の探究——」（代表者：大橋昭一）に参画。